

科目名称	精神看護学概論	学年学期	単位数	時間数
		1学年後期	1	30
担当教員	村上 裕紀、今村 高暢	授業に関わる 実務経験	☒ 有（看護師・医師） ☐ 無	

【1】授業概要

現在社会では、さまざまな環境問題によりあらゆるストレスを抱えており、心の不健康状態を呈している人間が多い。そのため、精神の健康と保持・増進に向けた精神保健についての基礎的知識と精神看護の役割について学ぶ。
また、地域社会の中で精神保健医療福祉におけるチームが、対象の人権擁護や安全を守りながら社会復帰に向けてどのように支援と連携を行っているのか基礎的知識と看護の役割について学ぶ。

【2】学習目標

1. 精神の健康と保持・増進に向けた基礎的知識を学び、看護の役割について説明できる。
2. 精神疾患・精神症状をもつ人の人権と安全を守り、社会復帰の支援をする基礎的知識を学び、精神保健医療福祉におけるチームの役割について説明できる。
3. 精神疾患・精神症状をもつ人の生物・心理・社会的側面に注目した基礎的知識を学び、看護の役割について説明できる。

【3】第2看護学科ディプロマポリシーとの関連性

- ☒ 1. 生活者としての人間を統合された存在として多角的に捉えることができる。
- ☒ 2. 人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重した判断および行動をすることができる。
- ☐ 3. 人々の多様な価値観を認識して、専門職業人としての共感的態度および倫理に基づいた看護実践をすることができる。
- ☐ 4. 看護の対象となる人々の健康状態を判断し、科学的根拠に基づいた看護を実践することができる。
- ☒ 5. 保健・医療・福祉チームの一員として多職種の連携・協働を図り調整的役割を果たすことができる。
- ☐ 6. 松山市および愛媛県周辺の地域医療への理解を深め、地域の人々の生活を尊重・支援することができる。
- ☒ 7. 自己の資質向上のため、看護に対する探究心・向上心をもち、主体的に学び続けることができる。

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	精神の健康	講義
2	精神保健医療福祉の変遷と制度	講義・DVD
3	こころの働き(理論から考えた精神活動)	講義
4	こころの働き(精神活動の基本的考え方)	講義
5	精神症状論と状態像	講義
6	人格(パーソナリティ)の形成	講義
7	適応的防衛と不適応的防衛	講義
8	精神科での治療、安全な治療環境の現状と課題	講義・DVD
9	患者と家族への看護、リエゾン精神看護	講義
10	精神疾患(障害)の特徴	講義
11	精神疾患(障害)の特徴	講義
12	精神疾患(障害)の特徴	講義
13	精神疾患(障害)の特徴	講義
14	災害時地域精神保健医療活動	講義
15	筆記試験・まとめ	

【5】評価方法

科目評価は、①筆記試験 80% ②レポート課題 20%で総合的に評価する。

【6】教科書

武井麻子他:系統看護学講座 専門分野 精神看護学(1) 精神看護の基礎 (第6版) 医学書院 2025 (電子版)
武井麻子他:系統看護学講座 専門分野 精神看護学(2) 精神看護の展開 (第6版) 医学書院 2025 (電子版)

【7】 参考書

授業内で提示する。

【8】 受講生へのメッセージ

既習の知識や新たな知見を得ながら学びを深めていきましょう。